

I 事務事業基本情報

総合計画統括CD	01 03 04 01	重点政策分類	食	事業CD	01	所管部課	経済環境部商工観光課
事務事業名	水産物消費・販路拡大事業(磯まつり)補助金				01	担当課長名	松山 和憲
総合計画分類	CD		名		称	作成者名	横山 靖樹
政策	01	産業		担当歴			平成 25 年度から
施策	03	安定した漁業の確立		電話(内線)			533
基本事業	04	水産物の消費と販路の拡大		事業年度		開始年度	S56
						終了(予定)年度	-

H29会計区分	1	一般会計	新規区分	<input type="checkbox"/> 新規	経費区分	<input checked="" type="checkbox"/> 政策	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 補助
予算科目	7	商工費		<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 投資		<input checked="" type="checkbox"/> 単独
	1	商工費				<input type="checkbox"/> その他		
	2	観光費						

予算書上の事務事業名	だて観光協会運営補助金	根拠法令・個別計画等	事業実施の根拠となる法令、条例、規則、要綱及び個別計画を全て記載
------------	-------------	------------	----------------------------------

II 事務事業概要

対象	誰を、または何を対象とした事務事業なのかを具体的に記載	執行形態	事務事業の執行方法をチェック					
	出店事業者、伊達市及び周辺住民・観光客		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> 市民と協働 <small>(委託・交付先等: NPO法人 だて観光協会)</small>					
目的	当該事務事業が何をねらいとし、対象をどのような状態にしたいのか。また、どのような成果を目指しているのかを具体的に記載							
	イベントに訪れる市内外の多くの人々に、地元水産物の販売を通して、消費拡大と漁業への理解を図る。							
	成果指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 目標値
	「目的」がどの程度達成されたか(成果)を測定できる適切な指標(数値等)を最低1以上設定して記載							
成果指標 (outcome)	① 出店数	店数	20	23	24	23	23	-
	② 入込数	人	27,000	37,000	35,000	22,000	32,000	-
	③							
成果指標の考え方・計算根拠等	①②水産物の販路拡大に関する取り組みについて、販売出店数と来場者数を成果目標とした。							
総合計画の成果指標に係る活動成果	重点政策(食・教育・生きがい・環境)については、総合計画「Ⅲ-2重点政策」(P16~P23)で定めた成果指標について記載							
手段	上記目的を達成するために、どのような方法で事務事業を実施したのかを具体的に記載							
	事業者ほか、関係団体で構成する実行委員会を組織し、実行委員会会議を開催する。その実行委員会には「だて観光協会」を経由し補助金を交付するとともに、市も実行委員として参画する。							
	活動指標名	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 目標値
活動実績 (output)	「手段」として提供した行政サービスや活動の実績を指標(数値等)に表して記載							
	1 有珠磯まつり開催日数	日	1	1	1	1	1	-
	2 有珠磯まつり総事業費	千円	2,970	3,089	3,181	3,211	2,793	-
3								
活動指標の考え方・計算根拠等								
事務事業の現状と課題	事業の現状と事業を進めていくうえで課題となっていた事項を記載							
	経費、人員ともに自立して運営できることが望ましいが、現実に開催準備、当日運営とも人的支援が欠かせなく、事務局体制も平成27年度より地域住民が主体となり行っているが、高齢化等により実行委員会の担い手や地域団体・地域住民全体の協力によるまつり運営・協力体制等が課題となり休止に至った。							
改善点	上記の現状と課題に対し、当該年度の重点取組み事項、設定した目標を具体的に記載							
	組織・体制・経費及び実施内容等の整理							
	上記の重点的取組み事項、設定した目標に対する改善内容及び検討(実施)中の改善内容及び当該年度を記載							
改善点	<input type="checkbox"/> (平成29又は30年度)既に改善済	<input type="checkbox"/> 事業内容 <input type="checkbox"/> 投入経費 <input type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他						
	<input checked="" type="checkbox"/> (平成30年度)改善を検討中(又は実施中)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容 <input checked="" type="checkbox"/> 投入経費 <input checked="" type="checkbox"/> 人員の配置 <input type="checkbox"/> その他					地域住民からまつりの再開についての意向があった場合は協力を行う。	

平成 29 年度実施事業

総合計画統括CD	01	03	04	01	重点政策分類	食
事務事業名	水産物消費・販路拡大事業(磯まつり)補助金					CD
						01

所管部課	経済環境部商工観光課
担当課長名	松山 和憲
作成者名	横山 靖樹

Ⅲ 投入経費 (input)

投入経費 区分	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
直接事業費 (A) 千円	500千円	500千円	400千円	500千円	500千円	0千円
国・道支出金 千円						
地方債 千円						
その他特財 千円						
一般財源 千円	500千円	500千円	400千円	500千円	500千円	0千円
参考人件費 (B) 千円	384千円	407千円	406千円	401千円	395千円	
一般職員 千円	384千円	407千円	406千円	401千円	395千円	
一人当たり年間平均給与 千円	5,481千円	5,821千円	5,794千円	5,733千円	5,673千円	5,835千円
投入人員 人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	
嘱託職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円	2,365千円	2,428千円	2,550千円	2,602千円	2,664千円	2,722千円
投入人員 人						
臨時職員 千円						
一人当たり年間平均賃金 千円						
投入人員 人						
投入経費 C=(A+B) 千円	884千円	907千円	806千円	901千円	895千円	0千円
人件費比率 D=(B/C) %	43.4%	44.9%	50.3%	44.5%	44.1%	0%

Ⅳ 一次評価

評価の視点	評価	判断理由 (左記の評価を選択した理由を具体的に記載)
観 点 別 評 価	目的妥当性 今後も市が主体または関与して事務事業を行っていくことは妥当か？ <input type="checkbox"/> 法律等で義務付けられている (法律等名称： <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地元水産物の消費拡大・販路拡大・宣伝及び観光客の誘客に結びついている。また、磯まつりの開催を通して、有珠地域全体の振興を図るものであり、市の関与が必要である。 <input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	有効性① 成果が出ているか？ <input type="checkbox"/> 目標とする成果が出ている <input checked="" type="checkbox"/> 少し成果が出ている 入込数については、天候に左右されることがあるものの、一定の入込数があり、地域のイベントとして定着している。 <input type="checkbox"/> 思うように成果が出ない	
	有効性② 成果を向上させることはできるか？ <input type="checkbox"/> 大きく向上できる <input checked="" type="checkbox"/> 向上できる 継続的な事業実施や事業内容の充実により、地元水産物等の消費拡大・販路拡大・観光客の誘客・宣伝、地域振興に効果が見込まれる。 <input type="checkbox"/> 向上は難しい	
	効率性 妥当な経費で事業が執行されているか？または、成果を落とさずに投入経費を削減することはできるか？ <input checked="" type="checkbox"/> 経費削減は可能 <input type="checkbox"/> 経費削減は難しい まつり運営に係る諸経費高騰や寄付金の確保等厳しい状況であるが、出店者の確保によるテナント収入の増加で歳入を確保し、補助金削減は可能である。	
	公平性 事業が一部受益者に偏っていないか？受益と負担のバランスは妥当か？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある 受益者負担割合を見直すことで、適正化の余地はある。	

今後の方向性	方向性の判断理由 (左記の方向性を選択した理由を具体的に記載)
総合一次評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	高齢化等による実行委員会の担い手や地域団体・地域住民全体の協力によるまつり運営・協力体制等が課題となり、実行委員会において休止の判断がなされた。

担当課長コメント	事業の進捗状況及び今後の展望等について記載
	本市に夏の到来を告げるとともに、有珠地域の水産物等をPRする唯一のイベントであったが、実行委員等の担い手不足のため平成30年度から休止となった。今後、地域が主体となって再開される際には、市としてもできる限りの協力をしたい。

◆ 事務事業評価会議の検討内容

平成 29 年度実施事業

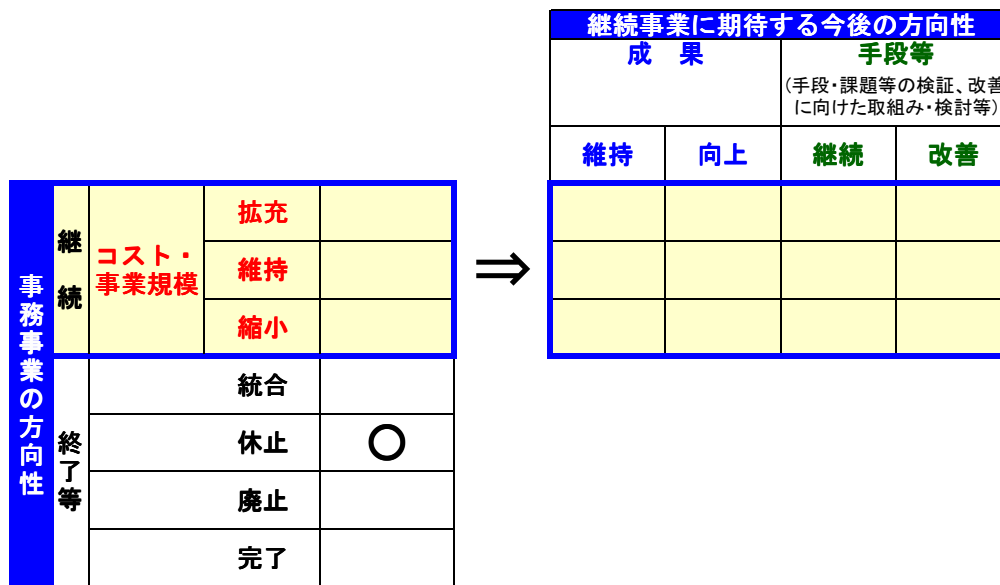
総合計画統括CD	01	03	04	01	重点政策分類	食
事務事業名	水産物消費・販路拡大事業(磯まつり)補助金					事業CD
						01

所管部課	経済環境部商工観光課
担当課長名	松山 和憲
作成者名	横山 靖樹

1 二次評価

評価項目	評価の視点			評価	
	評価の凡例	評価項目の求める水準を達成している。	○		
		評価項目の求める水準を概ね達成している。	△		
観点別再評価	目的妥当性	今後も市が主体、または関与して実施することが妥当である。		○	
	有効性①	成果が出ている。または、事務事業の目的が達成されている。		△	
	有効性②	評価の凡例	今後、成果を向上することができる。または、成果を向上させる余地がある。	○	△
			大きく向上できる	○	
			向上を期待できる	△	
効率性	妥当な経費で事業を執行している。		○		
公平性	受益と負担のバランスは適当である。		○		
事業ランク評価	総合計画上の視点	総合計画における当該事業の位置付けが明確であり、かつ本計画の施策の推進に貢献度が高いと認められる。		○	
	事業の必要性の視点	既に明らかとなっている課題や、今後予想される課題の解消に向けて、当該事業の必要性が真に認められる。		○	
	事業効果の検証の視点	事業の効果が客観的に検証されている。または、事業の効果が現れていない場合にあっても、その原因を分析し、有効な方策が検討または実行されている。		○	

2 二次評価に基づき期待する今後の事務事業の方向性



3 その他(特記事項・評価に関する補足事項等)

有珠地区の賑わいづくりやPRに貢献しているイベントではあったが、実行委員の担い手不足や地域団体・地域住民全体の協力による運営が困難となったことから、一次評価のとおりに「休止」と整理しました。今後地域住民によるまつり運営・協力体制等が整い、事業を再開した際に改めて事務事業評価を行います。